

第6回レファレンス協同データベース事業フォーラム開催要項

「日常業務の中のレファレンス協同データベース —「特別」から「当たり前」へ—」をテーマにフォーラムを開催します。

本データベースを利用した各館の取組みとその効果を紹介し、今後の図書館界において当事業が果たすべき役割を探るとともに、関係者相互の情報交換、交流の場とすることを目的とします。

1 開催日時

平成22年2月17日(水) 10:00～17:30

2 会場

国立国会図書館東京本館(東京都千代田区) 新館講堂

関西館(京都府相楽郡精華町) 第1研修室

※主たる会場は東京本館です。TV会議システムを利用して関西館に中継いたします。

3 参加対象

当事業参加館、および当事業に関心のある方

※各種図書館、関係機関、図書館情報学研究者、図書館情報学専攻の学生方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

4 プログラム(敬称略)

※講演・報告タイトルは若干変更になる場合があります。

- | | | |
|---|-------------------------------------|------|
| (1) 開会あいさつ | 国立国会図書館長 | 長尾真 |
| (2) 事業報告 | 国立国会図書館関西館図書館協力課 | |
| (3) 基調講演: デジタル時代のレファレンスサービス | | |
| | —レファレンス協同データベース事業のノウハウを効果的に活用するために— | |
| | 鶴見大学文学部教授 | 原田智子 |
| (4) 実践報告1: これまでの5年、これからの5年 —レファ協とともに— | | |
| | 埼玉県立久喜図書館 | 伊藤仁 |
| (5) 実践報告2: 平鹿図書館のレファレンス事情 | | |
| | 横手市立平鹿図書館 | 遠藤博巳 |
| (6) 実践報告3: 現場における情報共有への取り組み —レファ協は一石三鳥— | | |
| | 愛知学院大学図書館情報センター | 千邑淳子 |
| (7) パネルディスカッション: 日常業務の中のレファレンス協同データベース | | |
| | —「特別」から「当たり前」へ— | |
| | コーディネーター: 青山学院大学教育人間科学部教授 | 小田光宏 |
| | パネリスト : 鶴見大学文学部教授 | 原田智子 |
| | 埼玉県立久喜図書館 | 伊藤仁 |

横手市立平鹿図書館

遠藤博巳

愛知学院大学図書館情報センター

千邑淳子

(8) 閉会あいさつ 国立国会図書館主題情報部長

岡村光章

(9) (東京本館のみ)交流会 (*会費制、参加は任意)

※関西館では閉会後に、関西館見学を実施いたします。(参加は任意)